

新値足とは非時系列チャートのことです。

新値足とは

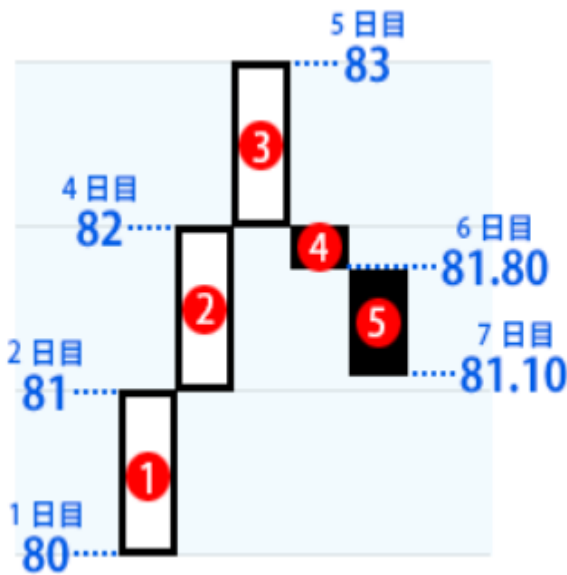
新値足とは、ローソク足のような「時系列チャート」ではなく、「非時系列チャート」です。チャートに時間の要素を加えず、価格変動に重点を置くことで、目先の小さな価格変動にとらわれずに相場の流れをとらえるチャートです。新値足は、相場の流れと、流れの転換を見るための指標です。

新値足の作成方法

新値足は、終値が直近のローソク足の高値あるいは安値を更新した際、新しいローソク足が作られます。

高値を更新：陽線（白ヌキ）

安値を更新：陰線（黒ヌリ）



日	終値
1日目	80
2日目	81
3日目	80.5
4日目	82
5日目	83
6日目	81.80
7日目	81.10

- ①1日目の終値が80で2日目の終値が81と高値を更新したので、陽線（白ヌキ）が生成されます。
※3日目は80.5で最新の足の高値（2日目：終値81）も安値（1日目：終値80）も更新していないので、何も生成されません。
- ②4日目の終値は82で最新の足の高値（2日目：終値81）を更新したので、陽線（白ヌキ）が生成されます。
- ③5日目の終値は83で最新の足の高値（4日目：終値82）を更新したので、陽線（白ヌキ）が生成されます。
- ④6日目の終値は81.80で最新の足の安値（4日目：終値82）を更新したので、陰線（黒ヌリ）が生成されます。
- ⑤7日目の終値は81.10で最新の足の安値（6日目：終値81.80）を更新したので、陰線（黒ヌリ）が生成されます。

新値足の利用方法

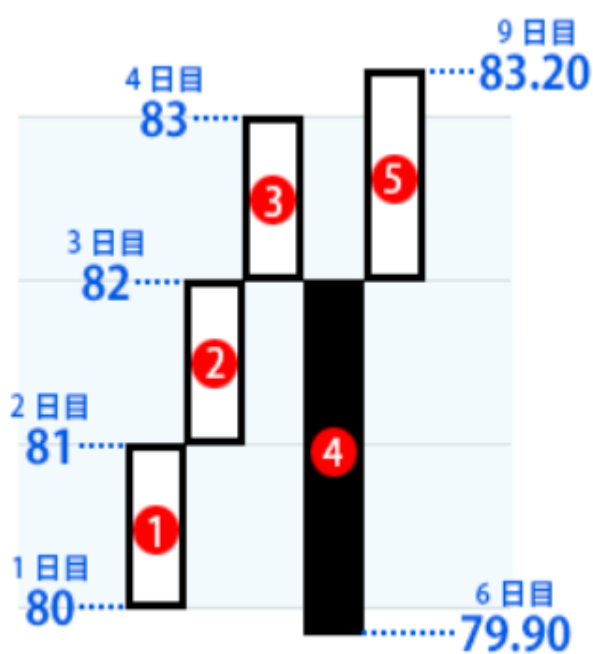
- ◎ 陰線から陽線に転換（陽転）した時・・・買いサイン
- ◎ 陽線から陰線に転換（陰転）した時・・・売りサイン

⚠ 陽転の場合は、その前に続いている陰線の本数が、陰転の場合は、その前に続いている陽線の本数の数が多い程、その後のトレンドへの期待が強まります。

新値三本足（＝三本抜き新値足、新値三段、三線転換）

新値三本足は一般的によく使われています。最新の足の高値・安値を更新する度に生成される新値足とは異なり、直近三本の陽線の高値または陰線の安値が更新されるまで陰転・陽転の足が生成されません。

新値三本足の作成方法



日	終値	
1日目	80	
2日目	81	①
3日目	82	②
4日目	83	③
5日目	80.50	
6日目	79.90	④
7日目	81.10	
8日目	82.80	
9日目	83.20	⑤

- ①1日目の終値は80で、2日目の終値は81と高値を更新したので、陽線が生成されます。
- ②3日目の終値は82で、最新の足の高値（2日目：終値81）を更新したので、陽線が生成されます。
- ③4日目の終値は83で、最新の足の高値（3日目：終値82）を更新したので、陽線が生成されます。
※5日目の終値は80.50で、最新の足の高値も直近三本の足の安値（1日目：終値80）も更新していないので、何も生成されません。
- ④6日目の終値は79.90で、直近三本の足の安値（1日目：終値80）を更新しているので、陰線が生成されます。
※7日目と8日目は最新の足の安値も、直近三本足の高値も更新していないので、何も生成されません。
- ⑤9日目の終値は83.20で、直近三本の高値（4日目：終値83）を更新しているので、陽線が生成されます。

新値三本足の利用方法

一方向に相場が動いている際、細かな動きで陰線と陽線が反転しないため、上昇相場なら陽線が、下降相場なら陰線が連続していきます。連続している足は、相場のトレンドを表します。

基本的には単純に陰転したら売り、陽転したら買いとなります。陰転、陽転する際、直近連続する陽線、または陰線が1本、または2本しかなくトレンド転換する場合も、陽線と陰線が逆転した場合は、トレンド転換となります。1本や2本で転換となった場合は、この1本、2本の足はダマシであると言えます。